

代表理事会長挨拶

創立40周年を迎えて

一般社団法人情報通信技術委員会 代表理事会長
原島 博



情報通信技術委員会（TTC）は、1985年に創立され、本年10月25日に40周年を迎えます。TTCは、「情報通信ネットワークに関わる標準を作成することにより、情報通信分野における標準化に貢献するとともに、その普及を図ること」をミッションとし、これまでに策定した標準類文書の累計数は、2025年3月時点で、標準929件、仕様書20,309件、技術レポート846件にのぼります。これらは、TTCの運営に参加された皆様並びに標準化活動にご尽力を頂いた皆様、それを支えてこられた会員の皆様の努力の賜物です。心より厚く御礼を申し上げます。

創立から40年を迎えるまでの間、情報通信を取り巻く状況は大きく変化しました。1985年の創立当初は、通信の自由化にともない、新規参入事業者がそれぞれ独自の技術を構築すれば、通信の本質であるネットワークの形成が困難になることから、相互接続に関わる技術基準の在り方が重要な課題となっていました。

創立から10年が経った1995年までに、TTCは「公正・透明な手続きによる民間標準の策定」を基軸に標準の作成・普及に取り組み、策定した標準は232件に及びました。他方で、当時、21世紀に向けた高度情報通信社会の潮流として、世界的な情報通信基盤「GII」の構築実現への動きが強まっており、標準化に対する期待も一段と高まっておりました。また技術面においても通信と情報処理、有線と無線、放送からマルチメディアソフトといった新しい分野への対応が求められておりました。

2005年には、創立20周年を記念し、「次世代ネットワーク（NGN）構築に向けた標準化を考える」と題したテクニカルシンポジウムを開催致しました。シンポジウムでは、将来のTTC標準化活動の方向性を考える上で重要な課題として、NGNの標準化をとり上げました。TTCにおいては、標準化活動を体系的かつ戦略的に展開するため、NGNを重点課題として位置づけ、アドバイザリーグループを設立し、NGN

の標準化検討体制を構築しました。

創立から30年を経過した2015年前後には、クラウドサービスなどネットワーク基盤上に多彩なプラットフォームやアプリケーションが出現するとともに、IoT/M2Mにより、あらゆるモノやサービスがネットワークに接続されるようになり、様々な分野でICTが利活用され、膨大なデータがネットワーク上を流れるようになってきました。標準化も、幅広いプレーヤーが参加できる場に発展させることが重要となりました。ITU-TでSG20が新設されたことに伴い、TTCにおいてもIoT/SC&C（Smart Cities and Communities）アドホックグループを設立してSG20への対応を強化していきました。

その後、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展、SDGsへの対応などが求められる中、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行もあり、あらゆる分野でデジタル化が進展し、情報通信の果たす役割が一層重要なものとなりました。TTCにおいても、2020年から、オンライン形式やハイブリッド形式でのイベント・セミナーの開催を開始し、また会員向けにはイベント・セミナーの記録動画のアーカイブを提供するようになりました。

TTCは、今後も、技術や社会環境の変化に適切に対応し、国際競争上の重要技術分野や新興技術分野における国内外の研究開発・国際標準化の動向・進展等を踏まえた標準化活動を推進するとともに、ICTの利活用分野、用途の多様化を踏まえ、ICT以外の技術分野や産業との連携、横断的取り組みを強化・加速して参ります。

40年という節目を迎え、これまでを振り返りながら、今一度、TTCがどのようにお役に立てるかを考える良いきっかけになればと思います。今後ともTTCが会員の皆さまの活動に寄与する存在であり続けられるよう取り組んで参りたいと思いますので、これまで同様にご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。